

「九州大学IRデータ集」のご紹介

2018.08.23 大学評価・IR担当者集2018
藤井都百（九州大）

経緯

前身である九州大学大学評価情報室が「九州大学ファクトブック(Q-Fact)」を発行していた(2010年度版、2011年度版)が、室の改組に伴って2018年に誕生したインスティテューショナル・リサーチ室(通称IR室)も、大学に関するデータを把握することを最初の業務とし、冊子を作成した。

IR室の最初のそして最も重要な業務の一つは、「客観的なまた精査された説得力のあるデータ」を集積することである。(中略) 大学や各部局等の現状を把握し、改革改善や将来計画作成に利用していただくことを目的に作成されている。

『九州大学IRデータ集2017年度』IR室長メッセージより

平成29年11月、一般向け冊子発行。英語版も作成。Webでも閲覧・ダウンロードが可能。

<宣伝> IR室ホームページは、IR室の自己紹介というよりは、IR室が集めたデータや分析結果の紹介に重きを置いて構成している。本学の情報を知りたい場合に“まず見に行く”ページを目指している。

作成手法

方針の決定	総長・執行部支援の一環として大学運営に関する基礎情報を整備することを決定
作成方針	・データソースには、大学概要をはじめとするオープンデータを採用する ・大学の特徴が浮かび上がるよう、経年推移に加え、他大学や部局間との比較等を可能な限り取り入れる ・レピュテーションマネジメント推進の一環として、「IR室Webサイト」を通じて学内外に公開する
作業人員	主担当1名 + 副担当1名 + 監修1名 計3名
検算	上記の作業人員で全データのダブルチェックを実施
英語化	翻訳業者に委託 → IR室にて校正チェック
使用ソフトウェア	主にExcel、Wordを活用
冊子作成部数、配布先など	1500部(日:1000部, 英:500部) 役員・執行部、事務局各部署、各部局(部局長, 事務部等)、海外オフィス ほか

実際のページ

自大学の状況を示す。比較可能な情報も示す。自大学の変化。学部の特徴。自大学の立ち位置。

経年変化グラフ。図形。ビジュアルに！

出典を示し、客観性の担保に留意する。

利用可能な学外の各種データも積極的に使用する。

グラフから読み取れることをコメントとして示し、データの見どころを伝えている。

評判

東京大学株主総会の基調講演でIR室長(理事)が紹介(H29年10月) → 先方の要請を受け100部送付

以上